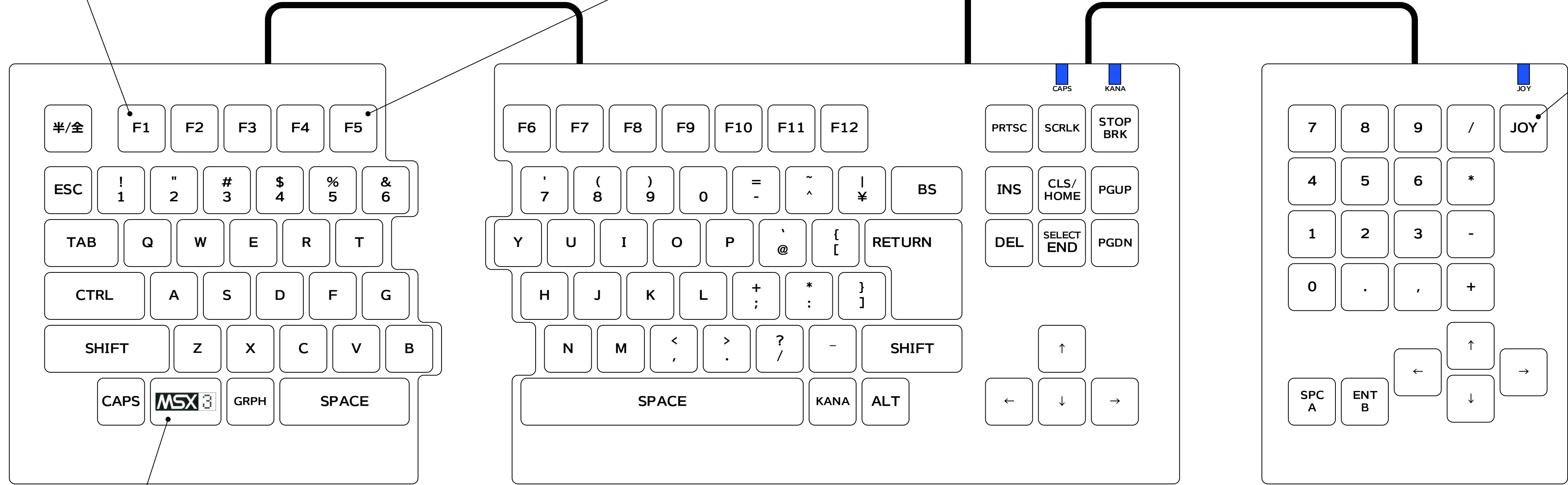


ファンクションキーは独立で搭載。Fnキー併用は無い。
 既存のゲームで、ボーズやメニューなど操作が振り回されているケースが多い。
 2レイアウトを兼ねている場合に、ボーズやメニューに入る場合、半角英字にならないので、Fnを同時に押すのが多い。
 また、Linux 側で日本語変換する際に、日本語入力ソフトウェアはキーボードを認識しないため、Fn併用は必要になる。

MSX/2+1/ TurboR2、F1~F5のキーしか存在しないため、F1~F5を左キーボードに集めた。

下の英田キーと、2つのボタンを下記の通りラベルするボタン。
 英田キー = カンパルキー、2つのボタン = スペースキー / シフトキー
 英田キー = ジョイスティックの方向キー、2つのボタン = Aボタン / Bボタン、JOY-LED付。



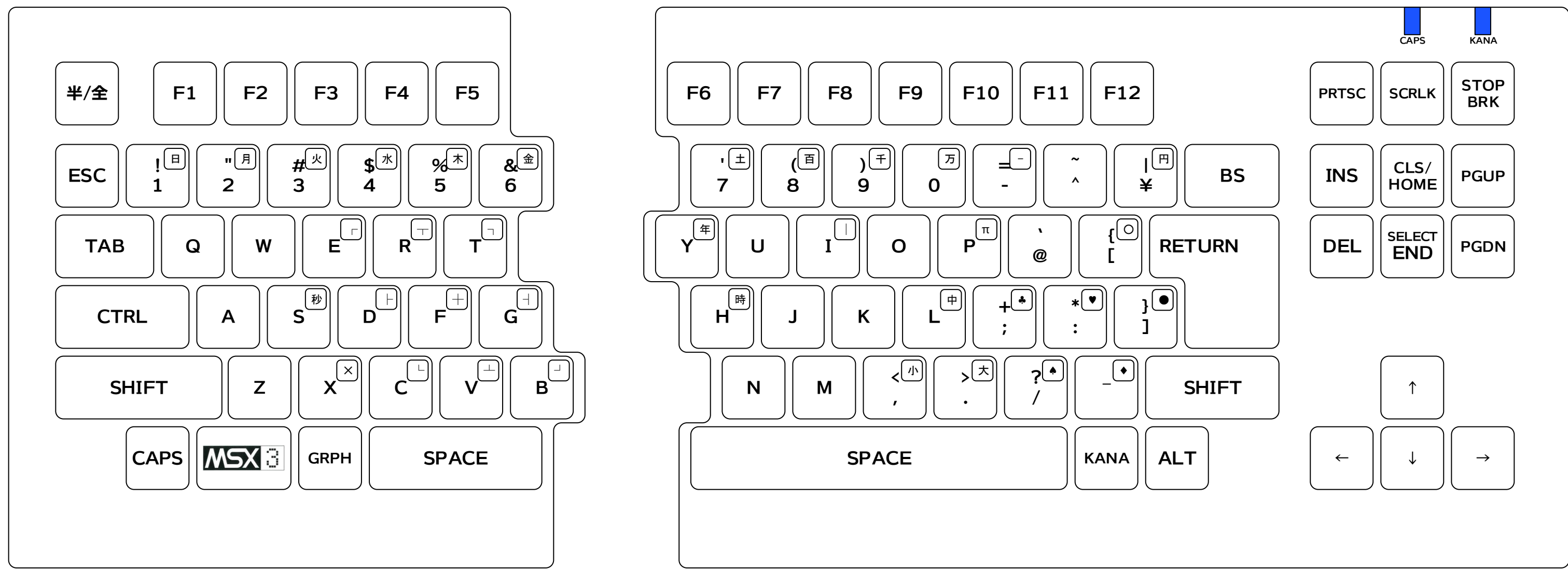
キーの刻印は下記から選べる
 (1) かな文字の刻印無し
 (2) かな文字の刻印無し (JIS配列)
 (3) かな文字の刻印無し (50音配列)

GRAPH文字は、キーの手前側側面に刻印、またはユーザーがお好みで「添付シール貼り付け」

【参考資料】



コスト度外視の妄想です。



GRAPH記号とキーボードのキーの対応表。